

2024/05/05(日)

みなみじょうはちこくさん はちこくさん
南条八石山・八石山(中八石)

メンバー:L 辻(記録)、有賀、福田

新潟県柏崎と長岡の市境に位置する南条八石山、春の山野草が沢山見られる山と言うことで楽しみにしていました。

駐車場は意外と空いていて余裕。登山口に山と花の図鑑のパンフレットあり。里山らしく整備がとても行き届いていてあちらこちらに整備用土壘が用意されていた。

いきなり巨大な白い花塊が・・・何かと思えばムシカリの花。多雪地帯の花はなんて大きいのだ。ウラジロナナカマドの白い花がもう咲いている。

山頂までほぼ木段だが尾根コースは急登の連続。

夏日のような暑さでバテバテでした。この時期は身体が暑さに慣れておらず一番きつく苦手な時期。

尾根コースはワラビが所処あるものの、期待の山野草はナンテンショウ、オオイワカガミ、アマドコロ、ホウチャクソウ、チゴユリ、ハナイカダ、タニウツギ、ウワミズザクラ、すでに咲き終わったショウジョバカマやエンレイソウ、カタクリの巨大な実。などで今一地味！ショウジョバカマの茎がストックの丈まである。

山頂には避難小屋、トイレもありベンチもいくつか設置されている。まだ小さいがワラビ畑の如くワラビがありすっかりワラビ採りに夢中になってしまった。と、地元の方とおぼしき人から、「この先の赤尾八石山からの下山道ではもっとりっぱなワラビが山ほど採れ、ここの細かいワラビは捨てたくなる」とのご忠告。



▼黒姫・妙高・火打岳

とりあえずこの先の中八石山目指して出発。これが又、激下りの激登りで悲鳴がでるほど。やっとたどりついた山頂には反射台とりっぱな石の標柱があり、黒姫、妙高岳、火打岳、越後三山もくっきり。展望は素晴らしく良いがこちらまで来る人はあまりいない。証拠写真を撮り南条八石山へリターン。福田さんが登る時見つけた白いトキワイカリソウにも出会えて良かった。

南条八石山に戻ると沢山の方がくつろいでいた。日陰のベンチが開くのを待って大休憩。

下山時のワラビ採り放題の赤尾八石山コースに後ろ髪をひかれながら、花優先の沢コースへと向かう。さすがに沢コース。ニリンソウ、オオイワカガミの大群生。背丈も花も巨大でニリンソウとは思えない。信州で見るとあんな可憐でかわいいニリンソウとは全く別物。



【コースタイム】 天気/晴れ 夏日のように暑い

08:00 追田登山口(南条八石山 P)

10:10 南条八石山 10:20

11:05 中八石山 11:10

11:50 南条八石山 休憩 12:40

12:55 赤尾八石山展望台

14:20 追田登山口

咲き残っていたシラネアオイにも出会えたけどもう終盤で色もあせぎみ。尾根コース合流地点通過後、最後の最後にウラシマソウ発見。ナンテンショウはよく見るけど釣り竿のついたウラシマソウは初めて見た。往路で見落としていたのはワラビ目になっていたから?! 期待したアズマシロカネソウは残念ながら見つけられませんでした。が次回の青田南波山に期待したい。八石山は沢山のコースがあるので花の時期を考慮するともう少し別コースを選択すればよかったのかも・・・とちょっと悔いも残るけど、花の適期の見極めは難しい! それでも沢山の山野草と眺望に恵まれ楽しい山行となった。今年の雪解け早すぎ~!!

多雪地帯は水の豊富さのためなのか、植物の多様性と大きさに驚かされました。

連休後半で帰りの渋滞の心配はあったが、大した渋滞も無くスムーズに帰れて良かった!



▲カタクリの実(巨大!)



▲トキワイカリソウ



▲タニウツギ



▲ペチコートスイセン(園芸種、小屋脇に在り)



▲イワカガミの大群生



▲タチツボスミレの大群生



▲シラネアオイ



▲ハタザオ



▲エンレイソウ



▲コバナノミミナグサ



▲オオバキスミレ



▲ウラシマソウ（釣り竿の先に釣り糸）



【写真多すぎて割愛した花】

- ・ナルコユリ・ムシカリ・ツクバネウツギ
- ・ミヤマザクラ・キランソウ・ムラサキヤシオ
- ・エンゴサク・ウラジロナナカマドの白花
- ・ニリンソウ・ユキツバキ・チゴユリ
- ・ヒロハテンナンショウ

※途中の展望台から円錐形の米山がきれいに
見えた

※不動滝コースにシロカネソウがアップされ
ていた（ヤマレコ）